



未来という選択

令和7年1月28日

黒田インターナショナル コンサルティング LLC

黒田 毅

政治は国民への責任を有する。それを行うことが政治である。

これらの視点は世界との新たな関係構築を実現できるものである。政治の共有性は世界において全く同じであるからである。

未来という選択は政治がどのような未来を実現するかなのである。これは王が国家を決定するのである。

これが宰相の決である。

今日の技術革新は、新しい未来を実現できるのである。産業基盤はそれにおいて飛躍を可能とできるのである。

これらは内政における可能性であり、未来という選択なのである。

これらは自国の新しい計画の作成は、財政や社会問題の解決において、新しい現実の構築を提案するものである。

金融システム、社会システム、政治システムへの新しい判断や改善は、民間からの意見の聴衆などとともに、官僚組織が新しい国家デザインを提案することはできるものである。

また、政治がどのようにするのか提示し、官僚がその全てを実現するなど、政治の正しい姿なのである。

これら新しい内製環境は、世界における新たな自己プレゼンスの構築を実現できるものである。

独自外交への転換などは、極東アジアにおける新たな対話と関係の構築を実現できるのである。